

研究計画説明書

平成27年度（ No.27-1）

（事務局にて記載）

研究課題名	甲州印伝への山梨県産鹿革の活用とプロダクトの試作開発																																														
研究期間	平成27年度～28年度	形態	○新規 ・ 継続（年目）																																												
研究開発予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"><u>H26年度： 2,609</u></td> <td style="width: 25%;"><u>H27年度： 7,909</u></td> <td style="width: 25%;"><u>H28年度： 5,436</u></td> <td style="width: 25%;"><u>予算総額：15,954</u></td> </tr> <tr> <td>報償費： 30</td> <td>報償費： 500</td> <td>報償費： 500</td> <td>報償費： 1,030</td> </tr> <tr> <td>旅費： 22</td> <td>旅費： 87</td> <td>旅費： 135</td> <td>旅費： 244</td> </tr> <tr> <td>消耗品費： 1,125</td> <td>消耗品費： 4,149</td> <td>消耗品費： 1,125</td> <td>消耗品費： 6,399</td> </tr> <tr> <td>役務費：</td> <td>役務費： 71</td> <td>役務費： 71</td> <td>役務費： 142</td> </tr> <tr> <td>委託費： 1,195</td> <td>委託費： 3,042</td> <td>委託費： 3,216</td> <td>委託費： 7,453</td> </tr> <tr> <td>使賃料：</td> <td>使賃料：</td> <td>使賃料： 389</td> <td>使賃料： 389</td> </tr> <tr> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> <td>原材料費：</td> </tr> <tr> <td>備品： 237</td> <td>備品： 60</td> <td>備品：</td> <td>備品： 297</td> </tr> <tr> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> <td>負担金：</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※プレ研究</td> <td style="text-align: right;">（単位：千円）</td> </tr> </table>			<u>H26年度： 2,609</u>	<u>H27年度： 7,909</u>	<u>H28年度： 5,436</u>	<u>予算総額：15,954</u>	報償費： 30	報償費： 500	報償費： 500	報償費： 1,030	旅費： 22	旅費： 87	旅費： 135	旅費： 244	消耗品費： 1,125	消耗品費： 4,149	消耗品費： 1,125	消耗品費： 6,399	役務費：	役務費： 71	役務費： 71	役務費： 142	委託費： 1,195	委託費： 3,042	委託費： 3,216	委託費： 7,453	使賃料：	使賃料：	使賃料： 389	使賃料： 389	原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：	備品： 237	備品： 60	備品：	備品： 297	負担金：	負担金：	負担金：	負担金：	※プレ研究			（単位：千円）
<u>H26年度： 2,609</u>	<u>H27年度： 7,909</u>	<u>H28年度： 5,436</u>	<u>予算総額：15,954</u>																																												
報償費： 30	報償費： 500	報償費： 500	報償費： 1,030																																												
旅費： 22	旅費： 87	旅費： 135	旅費： 244																																												
消耗品費： 1,125	消耗品費： 4,149	消耗品費： 1,125	消耗品費： 6,399																																												
役務費：	役務費： 71	役務費： 71	役務費： 142																																												
委託費： 1,195	委託費： 3,042	委託費： 3,216	委託費： 7,453																																												
使賃料：	使賃料：	使賃料： 389	使賃料： 389																																												
原材料費：	原材料費：	原材料費：	原材料費：																																												
備品： 237	備品： 60	備品：	備品： 297																																												
負担金：	負担金：	負担金：	負担金：																																												
※プレ研究			（単位：千円）																																												
研究担当者	山梨県工業技術センター：串田賢一、渡辺誠、鈴木文晃、佐藤博紀 山梨県富士山科学研究所：小平真佐夫																																														
外部共同研究者	（有）印伝の山本、富士河口湖町																																														
研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニホンジカは、古来から貴重な資源として肉や毛皮が活用されてきたが、明治以降、個体数が減少したため、第2次世界大戦後、絶滅を避けるための措置として平成11年頃まで一貫して保護されてきた。 ○ このため、ニホンジカの皮を産業として利用するために必要な数量が確保できなくなり、産業利用が衰退した。 ○ しかし、今、山梨県内に生息しているニホンジカは適正管理が必要になるほど個体数が増加（適正数4,700頭／推定生息数38,000頭）しており、産業上、利用することが可能な状況となってきた。（捕獲数9,775頭／食肉処理頭数126(H24)） ○ また、県では平成26年3月に「ニホンジカ有効活用ガイドライン」を公表し、捕獲したニホンジカの有効活用を推進する必要性を示している。 ○ 食肉については、食に対するニーズの高まりや特産品開発の流れに後押しされ、加工施設の設置や食品開発が進展しているが、その皮については埋設処理等に留まっている状況である。 ○ ニホンジカの皮を再び有効活用するためには、その特性を生かした、より付加価値の高い新たな製品開発とその原料である皮を供給する体制を整える必要がある。 ○ 本研究は、富士北麓地域に生息するニホンジカをモデルケースとして、その有効活用策としての県産鹿側皮の製品開発と効率的な捕獲方法について研究し、県産鹿皮の有効活用方法を提案することを目的とする。 																																														
研究の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県に生息しているニホンジカから取れる皮を甲州印伝の素材として利用するべく、その特性評価や特殊加工等を行うとともに、印伝の新柄検討、プロダクト開発を行う。 ○ 素材の将来的な安定的供給に向けた取組として、富士北麓地域に生息している鹿をモデルケースとし、その生態情報調査と「捕獲マニュアル」「解体・保存マニュアル」の作成を行う。 <p>[プレ研究：基礎的データ収集及び試験的な印伝加工]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ニホンジカ皮の取得～なめし・染色～物性評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏皮10枚（オス5枚・メス5枚） 供給＝ジビエ食肉加工場（富士河口湖町） ○ 鞣し・染色 委託先＝山口産業（株）（東京都） ○ 物性評価：物理試験（皮革工業用原材料試験10項目）官能試験（KES（風合い）試験） 																																														

	<p>委託先＝（独）東京都立産業技術研究センター 墨田支所 生活技術開発セクター 比較対象＝エゾシカ（オス・メス）、キョン、洋シカ（NZ産）</p> <p>② 印伝加工 ○ 鞣し・染色加工済みの革（夏皮ベース）に施漆 ○ 密着性等観察</p> <p>③ 生態調査（標本数7頭） ○ 学術捕獲許可申請～捕獲作業～GPS標識付け作業～結果まとめ</p> <p><u>[1年目：基礎的データ収集、プロダクト開発、生態調査本格実施]</u></p> <p>①ニホンジカ皮の取得～なめし・染色～物性評価 ○ 夏皮：2枚（オス1枚・メス1枚）、冬皮：48枚（オス24枚・メス24枚） 供給＝ジビエ食肉加工場（富士河口湖町） ※鞣し・染色、物性評価はプレ研究時と同様に実施</p> <p>②プロダクト開発 ○ 染色（デザイナーアーカイブと連携）、仕上げ方法の検討、特殊加工 ○ 印伝新柄検討（デザイナーアーカイブと連携）、印伝加工 ○ プロダクトデザイン及び試作</p> <p>③生態調査（標本数30頭）</p> <p><u>[2年目：基礎的データ収集、プロダクト開発、生態調査本格実施]</u></p> <p>①ニホンジカ皮の取得～なめし・染色 ○ 主として冬皮：50枚 供給＝ジビエ食肉加工場（富士河口湖町） ※鞣し・染色はプレ研究時と同様に実施</p> <p>②プロダクト開発 ○ 染色（デザイナーアーカイブと連携）、仕上げ方法の検討、特殊加工 ○ 印伝新柄検討（デザイナーアーカイブと連携）、印伝加工 ○ プロダクトデザイン及び試作</p> <p>③展示会出展による消費者反応調査</p> <p>④生態調査（標本数7頭）</p> <p>⑤「捕獲マニュアル」「解体・保存マニュアル」の作成</p>
<p>研究の基礎となるこれまでの研究蓄積</p>	<p>[関連する研究] 総理研研究「山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築」 ※文様→印伝の新柄、色彩→鹿革の染色</p> <p>[プレ研究の実施状況] ○ 富士北麓生息のニホンジカ10頭分の皮を入手（オス5枚・メス5枚） ○ エゾシカは鞣し・染色を同条件で、キョン及びNZ産は染色のみ同条件で実施 ○ この試料について、現在、都立産業技術センターにて物性評価を実施中。 ○ 生態調査については、学術捕獲許可は取得済み（県）。11月から捕獲作業を実施予定。</p>
<p>期待される成果</p>	<p>○ 「甲州印傳の原点」に遡りつつ、「リ・デザインされた最新物産」の創出が期待できる ○ 本県ニホンジカの皮を皮革素材として使用するための事例・エビデンスづくりができる ○ 地域内での一定数量の素材調達を可能とする加工施設との連携が期待できる ○ ニホンジカから得られる皮の高付加価値化を推進することで、川上となる「捕獲」の価値向上が図れ、県産鹿皮の有効利用についてのガイドライン作りに寄与することができる。</p>
<p>共同研究とする理由</p>	<p>[役割分担] ○ 山梨県工業技術センター：皮革の染色・加工、印伝柄作成、プロダクトデザイン ○ 山梨県富士山科学研究所：生態調査、各種マニュアル作成</p> <p>[理由] ○ 本県ニホンジカの有効利用のためには、高付加価値な鹿革製品の開発と原材料としての鹿革の効率的な供給方法の確立の両面から取組を進めることが有効であり、このノウハウを有する両機関による研究実施としたい。</p>